

年 組 名前:

スキー場 寒波で人波

豪雪地帯を敬遠、晴天多い山梨へ

寒波の影響で日本海側や北日本を中心に大雪が続く中、晴大率が高い山梨県内のスキー場が活況を呈している。普段は新潟県など豪雪地帯のスキー場を利用する東京圏のスキーヤーらが悪天候を敬遠し、アクセスと天気の良い山梨に足を運んでいるとみられ、県内では昨年よりも1〜2割程度、来場者が増えたスキー場も。スキーヤーは「スキー場選びの決め手は天気一ぬれずに快適に滑れる」と太鼓判を押す。スキー場関係者は「新規客への魅力アピールにつながった」とし、春先のトップシーズンへの波及効果を期待する。

〈森山花音 木場菜摘〉



リフトの順番待ちをするスキーヤーら。山梨県内のスキー場一笛吹市御坂町上黒駒の客足が伸びている

新規客の再訪に期待

湘南、川崎、八王子、沼津「しくない」といい、「スキー」11日午後1時ごろ、笛吹市のカムイみさかスキー場の駐車場は県外ナンバーの車で混雑し、敷地内に8カ所ある駐車場の一部には満車を示す看板が立てられていた。リフト前にはスキーヤーらが長蛇の列を作っていた。

同スキー場を訪れた東京都の自営業山岡加奈さん(59)は、これまで新潟県のスキー場に行くことが多かったが、豪雪により断念。小学1年と4歳の孫と来ているため、「雪がふぶいている中では危ないし、スキーを嫌になっただけだ」と話している。甲府の1月の降水量は20mmで、平年の半分以下だった。

普段は新潟県や茨城県のスキー場を選んで来たという東京都のパート阿部幸江さん(47)は、今年初めて山梨県のスキー場に来たという。昨年、山梨県のスキー場に行き、雪の中でスキーをしていたが、滑り終わる頃にはスキーウェアがびしょ濡れに。阿部さんは「雪が降っている中でスキーは楽しさよりも苦痛。雪の状態も良く、天候もいい山梨のスキー場も今後は候補に入れていく」と話していた。

北杜市大泉町西井出のサンメドウズ清里スキー場では、

(2025年2月12日付 山梨日日新聞 19面)

問1 山梨県内のスキー場が、賑わいを見せています。スキーヤーは、どのような理由で、訪れていますか。

.....

.....

問2 日本海側や北日本が大雪となっていますが、山梨はどのような天候ですか。

.....

.....

問3 例年以上にスキー客が多く来ていることで、スキー場は何を期待していますか。

.....

.....

1月の来場者数が昨年と比べて1〜2割ほど増加。主要客層である東京圏からの客足が伸びているという。担当者は「豪雪地帯を避けて、日帰りでできるスキー場を訪れる人がいるのでは」と理由を推測。「日帰りできるアクセスの良さなどを体感してもらえたことで、リピーターにつながるのではないかと話し、県内スキー場のトップシーズンとなる3月のにぎわいに期待をかけていた。